

1級・2級土木施工管理技士 合格体験記（令和4年度受験）

資格	年齢 (実務経験)	志望した動機	勉強のやり方 (対策講座を受けてよかったことなど)	取り組みの時系列	モチベーションの維持方法
2級	23歳 (4年)	現場監督には必須資格だから。	令和3年から平成23年の過去問を順番に解いていき、全部正解するまでやり、調べごとはネットで行いました。 今までの過去問にはなかった問題も出題されたので、過去問だけをやるのは、おすすしめない。 ボールペンの青色で書くことで、自分的には黒よりも頭に入りやすかったので、青色で書いていました。 作文の講座を受けて、添削してもらって良かった。定型文も教えてもらい、文字数も稼げて作文がとても書きやすかった。	過去問の方を完璧にしてから、作文は品質と安全を覚えるまでひたすら書きました。 勉強を始めたのは1か月前ぐらいからで、毎日平均で2時間ぐらい勉強しました。 作文は講座で1か月以上前から添削してもらっていて、暗記に取り組んだのは、1週間前からです。	職場からの程よいプレッシャーがあり、それがモチベーションに繋がった。
2級	23歳 (4年)	仕事に必要だから	自分自身作文は苦手ですが、職員の方がとても真剣に考えてくれてとても助かった。自分には無い言葉の言い回しや技術をいろいろ言って頂き参考になった。 ある程度内容が固まったら、後は試験本番に忘れないように暗記するのみ。	実際は1週間ぐらいで作文は完了して、穴埋め問題はそんなに難しくなかったので作文をメインに進めていった。穴埋めはほぼ勉強していない。	特にありませんが、落ちても次があるしと思いきげにやった。
2級	24歳 (6年)	土木という職について、自分のスキルアップを目指していきたいと思ったから。	平日の仕事終了時から夜にかけて、休日には家庭学習 過去問を何度も繰り返し復習して回答 対策講座での論文の添削、上司からのアドバイス	約2ヶ月前から週3回～4回、1回4時間程度	土木の実務を経験していても、いざ問題集をしてみると、分からない問題ややったことのない施工方法などがいくつもあったので、それを重点的に覚えようとする、自然に理解できていった。 新しい知識を得ることが、勉強を続けていくモチベーションや努力につながった。
2級	26歳 (6年)	この業界で仕事を続けていくために必要だと感じたから。	一次検定(筆記試験) 毎日空いた時間に過去問を解き、翌日に覚えているかを復習も兼ねて繰り返し解いた。 二次試験(実地試験) 会社の先輩に書き方を教わったり、実地試験対策講座を受講し講師の方の添削等を参考にして、作文全部を覚えるのではなく、重要なワードと何が書きたいかを記憶してすらすらと書けるようになるまで練習。	筆記試験 試験日三か月前ぐらいから平日の夜1～2時間程度 実地試験 試験日一週間前ぐらいから5～7回程度	根詰めてやらない、やりたい時にやる。
1級	27歳 (9年)	土木業界では必須資格と感じたため。	記述・論文共に暗記できるまでひたすら書いて覚える。	3月頃から勉強を開始して6月までには過去10年の問題を覚えて、過去問にないところは土木の参考書から覚えるようにした。 7月からは論文作成と過去問、参考書をひたすら解いて、9月には論文、過去問は完璧に覚えて、参考書をひたすら覚える。 勉強時間は1時間～4時間を毎日行う(集中できなかったらその日は早めに切り上げる)。	特になし